

TOP MESSAGE トップメッセージ

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り 厚く御礼申し上げます。

当社グループの当期(2022年4月1日から2023年3月31日ま で)の業績の概況につきましてご報告申し上げます。

売上高は1,312億円(前期比202億円増)、営業利益は86億円 (前期比29億円減)、経常利益は為替差益を計上するなどで103億 円(前期比29億円減)、親会社株主に帰属する当期純利益は69億 円(前期比47億円減)となりました。



POINT

●(無機化学事業)酸化チタンは半導体不足などによる自動車生産調整や中国での景気悪化の影響を受けつつも、価 格改定の浸透や為替が円安で推移するなどで増収。機能性材料は期前半に車載用などの電子部品用材料が順調に 推移し増収。

損益面では原燃料価格の高騰を受け販売価格への転嫁に取り組むも、それを大幅に上回るコスト上昇や国内外で の需要低迷による販売減などで減益。

●(有機化学事業)農薬は欧州での流涌在庫調整などで殺虫剤の販売が低迷するも、米州では殺菌剤および除草剤の 販売が好調に推移した他、アジア地域では拡販活動の進行により殺菌剤の販売が好調に推移。国内販売も増収。動 物用医薬品などのヘルスケア事業は売上高が前期実績を上回る。

当社は、企業価値を高めるとともに、株主のみなさまへ利益を還元していくことを経営の最重要政策の一つと位置付けてお り、当期実績および今後の経営環境等を総合的に勘案し、2023年3月期の期末配当金につきましては、直近の配当予想から 2円増配(前期比6円増配)し、1株当たり42円とさせていただきました。

今後の見通しにつきましては、エネルギー価格は下落の兆しが見えるものの、今後の世界市況の不透明さや、ロシア・ウクラ イナ戦争の長期化に伴う資源価格の高止まりが予想され、非常に厳しい事業環境が継続すると見込まれます。このような見通 しのもと、当社グループの次期の業績予想は、売上高1,470億円、営業利益110億円、経常利益105億円、親会社株主に帰属 する当期純利益75億円を見込んでおります。

なお、通期の為替レートは、米ドル135円、ユーロ140円と想定しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

147,000

連結財務ハイライト

WEB IR情報 > 財務ハイライト

石原産業 財務ハイライト 検索

11.557

11,000







103億円 29 億円減 뇌

経常利益の推移





StageI 目標 2024年3月期





各事業の重点施策および主な取り組み状況

●新事業/新製品創出力の強化

●「Vision 2030」に向けた社内の構造・意識改革

無機化学事業	酸化チタン	● 高機能・高付加価値品の販売比率アップ	右記グラフ❶
	機能性材料	●電子部品材料、導電性材料の拡販	右記グラフ❷
	新製品開発	●更なる成長ドライバとなる 新製品の開発加速	・(高屈折材料)国内サンプルワークを実施、評価推進中 ・(硫化ビスマス顔料)光学部材向けにサンプル引き合い増加、 スケールアップ検討中
	コスト削減	●主原料鉱石の有利調達実現	・製品品質を維持した上での多種多様な鉱石の受け入れに向けて 有利調達を推進中
		●廃棄物低減、設備維持費低減	・マテリアリティKPIとして推進中
		● 製造拠点の最適化に向けた マスタープランの始動	・省エネ、省資源、省力化につながる持続可能な工場を目指し、 スクラップ・アンド・ビルドも視野に入れた生産構造の再構築を検討中
	環境対応	●温暖化ガス削減に向けたロードマップ作成	・カーボンニュートラルに向けたロードマップ策定
有機化学事業	農薬	●農薬原体の世界一低コストでの製造および 安定供給の実現と当社世界市場占有率の拡大	・インドの製造委託先での新工場(農薬原体製造)稼働
		●次期主力剤のコスト低減と需要拡大	右記グラフ❸
		販社複数起用などによる戦略的・革新的な 営業施策の実行	【 右記グラフ❹ 】
		●世界各国での農薬登録の取得・維持	・世界各国で次期主力剤の農薬登録取得に向け対応中
	新製品開発	バイオラショナル分野の開発・商品化を推進	・新規天敵製品「スワルバンカー®ロング」上市 ・ISK初のバイオスティミュラント製品(植物由来成分)の販売開始
	生産技術	●化学合成技術の錬磨・伝承	・兵庫県小野市に自社パイロットプラント新設のための土地購入
	動物用医薬品	●犬用抗膵炎剤のグローバル展開	・犬用抗膵炎剤が米国FDAの条件付き承認を取得、 米国にて販売を開始
画	●トップライン(売上)の拡大		上記グラフ⑤

· 社長直轄「事業創出委員会」設置

・青色コチョウラン国内販売開始 ・パーパス策定・社内への浸透を推進

・社長説明会や統合報告書、社内報等の媒体を通してトップメッセージを発信

無機化学事業

新たな価値創造で 環境と情報化社会の 進展に貢献



有機化学事業

世界の人々の 食、健康、生命への 貢献



酸化チタン、機能性材料

- 高機能・高付加価値品は販売を伸ばす
- 高機能・高付加価値品比率は、 -般品の価格改定で低下
- 電子部品材料向けは、 自動車用と通信関連向けで 期後半より回復の見込み

高機能・高付加価値品販売比率 グラフ①



機能性材料/材料別販売計画 グラフ2







(注)高機能とは機能性材料製品、高付加価値とは耐久性や遮熱性などに 優れた顔料の他、特徴あるインキやプラスチック用途などに使われる 当社が重点的に拡販に取り組む酸化チタン製品を指す

農薬

- 次期主力剤が米州を中心に順調に拡大
- 主力殺菌剤も引き続き堅調に推移
- 米州や欧州を中心に海外販売が 堅調に推移する見込み

剤別販売計画 グラフ3



(注)次期主力剤とは「殺虫剤シクラニリプロール」 「除草剤トルピラレート」「除草剤チアフェナシル」などを指す

地域別販売計画 グラフ4



※アジアには大洋州を含む

日本機械工業連合会「令和4年度優秀省エネ脱炭素機器・システム表彰」受賞

新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)プロジェクトで進められた「吸着材蓄熱システム」(メガストック®)が、日本機械工業連合会主催「令和4年度優秀省エネ脱炭素機器・システム表彰」において、「日本機械工業連合会会長賞」を受賞しました。

本表彰は、IoT時代に対応したシステム全体として、省エネ効果を発揮するような新しい取り組みを対象とし、エネルギーの効率的利用の促進に貢献していると認められる企業、企業グループを表彰するもので、本システムを開発した高砂熱学工業株式会社ならびにシステム開発に携わった産業技術総合研究所、東京電力エナジーパートナー株式会社、森松工業株式会社、日野自動車株式会社および蓄熱材の量産化開発をおこなった当社の共同受賞となりました。

当社は産業技術総合研究所と共同で、100°C程度の低温廃熱を有効に利用でき、高い蓄熱密度、優れた耐久性を有する蓄熱材の量産化開発を行い、1,000トン/年レベルの生産を可能とする量産製造技術を確立し、蓄熱材「ハスクレイ®」の製造を担当しています。



ハスクレイの外観

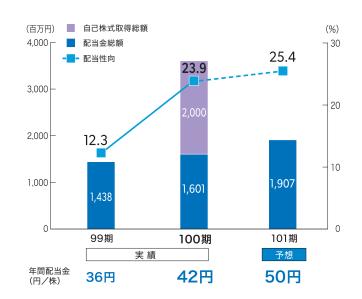


株主還元

当期(100期)の期末配当金

1株当たり 42円

- ■企業価値を高めるとともに、株主のみなさまへ利益 を還元していくことを経営の最重要政策の一つと位 置付けています。
- ■配当は、業績動向、財務状況、将来の事業展開に必要な内部留保の充実等を総合的に勘案して業績に応じた安定的な配当の継続を基本に考えています。
- ■機動的に自己株式取得も行い総還元性向も意識した株主還元を行います。
- ■中期経営計画「Vision 2030 StageI」では、最終年度(2023年度)に向けて連結配当性向30%を目標とします。



会社概要 (2023年3月31日現在)

商 号 石原産業株式会社

英文商号 ISHIHARA SANGYO KAISHA, LTD.

本 社 〒550-0002 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号 TEL:06-6444-1451(総務部)

創 業 1920年9月10日 設 立 1949年6月1日

資 本 金 43,420,548,178円

従業員数 1,146名

事 業 所 本社・中央研究所・四日市工場・東京支店・中部 支店・札幌営業所・仙台営業所・福岡営業所・アル ゼンチン支店・シンガポール支店



「統合報告書2022」は当社ホームページにて ご覧いただけます。ぜひご一読ください。





IR情報 > 統合報告書

石原産業 統合報告書

検 索

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から

翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基 準 日 定時株主総会: 毎年3月31日

期末配当:毎年3月31日 中 間 配 当:毎年9月30日

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、やむを

得ない事由により電子公告をすることができな

い場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

特別口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

(当社ホームページアドレス) https://www.iskweb.co.jp

(郵便物送付先)

〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 🔯 0120-782-031

単元未満株式を保有されている株主さまへ

当社の株式は1単元が100株となっています。株主さまがご所有の単元未満株式(100株未満)につきまして は、市場で売買できない、株主総会で議決権を行使できないなどの制約があります。単元未満株式をお持ち の場合は、買増制度、買取制度をぜひご利用ください。

買増制度

単元株式(100株)となるよう、不足する株数の 株式を当社より購入することができます。

買取制度

当社に対して単元未満株式(100株 未満)を売却することができます。

特別口座で株式を保有されている株主さまへ

特別口座に記録されている株式は、市場での売買ができないなどの制約があります。 市場での売買を行うには、特別口座から証券会社の口座に株式を振り替えていただく必要がございます。

支払期間経過後の配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。 お支払開始日から満3年を経過した配当金は、お受け取りができなくなります。お早目にお手続きください。

配当金を『配当金領収証』で受領されている株主さまへ

~配当金は口座振込でもお受け取りいただけます~

配当金の受取方法を口座振込に変更されますと、配当金のお支払開始日に株主さまご指定の口座 に振り込まれ、安全・確実に配当金をお受け取りいただけます。この機会に口座振込でのお受け取 りをご検討ください。

各種お手続について

住所変更、単元未満株式の買増・買取、配当金受取方法の指定など

証券会社をご利用の 株主さま

お取引先の証券会社に お問い合わせください。

証券会社をご利用でない株主さま

特別口座の管理機関である三井住友信託銀行 株式会社にお問い合わせください。

oo. 0120-782-031